

令和8年度 第80回小樽市中学校陸上競技大会 開催要項

兼 第57回北海道中学校陸上競技大会 小樽予選会

第53回全日本中学校陸上競技選手権大会四種競技指定大会

1. 主 催

小樽市中学校体育連盟 小樽市教育委員会

2. 主 管

小樽市立北陵中学校 小樽後志陸上競技協会

3. 日 時 令和8年6月27日(土) 小樽手宮公園陸上競技場

監督打ち合わせ 8:00

競技役員打ち合わせ 8:15

競技開始 9:00

競技終了 16:00(予定)

※開閉会式は行わない。

4. 種 目

	1 年	共 通
男子	100m 1500m	100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH、 4×100mR、走幅跳、走高跳、砲丸投(5kg)、棒高跳び、 4種競技(110mH、砲丸投:4kg、走高跳、400m) (15種目)
女子	100m 800m	100m、200m、800m、1500m、100mH、 4×100mR、走幅跳、走高跳、砲丸投、 4種競技(100mH、走高跳、砲丸投、200m) (12種目)

5. 参加規定

(1) 2026年度日本陸上競技連盟登録会員であること。

(2) 一人、補欠も含めて2種目以内とする。(ただし、リレーは除く)

(3) 種目登録は、各種目正選手3名、補欠1名までとする。補欠は予め出場の可能性のある種目を報告する(最大2種目)。

(4) 小樽市内の中学校に所属している生徒で、所属中学校の学校長が参加を認めたもの。また、生徒は保護者の同意を得ることを条件とする。

(5) 地域クラブ活動に所属する中学生

◎ 地域クラブ活動に所属する中学生

① 地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。

② 北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件

ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。

ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。

エ 『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』(令和7年12月22日文科科学省発出)(以下、「改訂ガイドライン」と言う。)を遵守していること。

オ 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。

カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

キ 学校部活動、認定地域クラブ活動及び地域クラブ活動のいずれかから、1つのみ全国中学校体育大会につながる大会に参加することができる。重複した大会参加は認めない。

B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

C 参加を認めない場合

- ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- イ 改訂ガイドラインに基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。ただし、当該自治体における認定制度開始日から2年間を猶予期間とし、「地域クラブ活動」としての参加は認める。（「令和8年度『地域クラブ活動』における北海道中学校体育連盟登録 申請要項」を確認の上、申請すること。）

③ 北海道中学校陸上競技大会参加の特例細則

- ・ 在籍している学校の所属、又は日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属からのいずれかで参加できる。
- ・ リレー・駅伝は、「地域展開モデル地区や自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」、又は、「地域 展開の受け皿となっている地域クラブ活動」で参加することができる。（※）以下の要件を満たす場合は、地域クラブ活動 の登録所在地の市町村より参加することができる。

A 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合。

B 在籍している学校に希望する部活動が無いこと等の場合において、北海道中学校体育連盟及び地区中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を認めている場合。

- ・ 複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

■ 「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」の定義について

「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」とは、当該団体が在籍地等の教育委員会や学校等と連携しながら、地域展開に向けて取組を進めているクラブ（教育委員会の承認が必要）のことであり、複数のチームから一部の選手のみを選抜した形で作るような地域クラブ活動を意味するものではないこと。

※₁ 各市町村教育委員会と連携し、域内の学校部活動の地域展開に向けた具体的な取組に日常的に参画したり、学校部活動を地域展開させるための団体として指定したりしている団体であること。

※₂ 域内の中学校の生徒が所属している団体であるということのみを持ってして、「地域展開の受け皿」であるということには該当しないこと。

(6) 2種目参加条件は次の通りとする。

① 全道大会出場を希望する(第1希望に該当する)種目が、先に開催される時。

ア 小樽後志代表決定戦・全道大会の出場権を獲得したときは、他の種目には出場できない

イ 小樽後志代表決定戦・全道大会の出場権を獲得しなかったときは、他の種目に出場できる。

② 生徒・保護者が上記の参加条件に同意し、正式な契約を交わして、文書で小樽市中学校体育連盟に報告をしたとき。

6. 入賞・得点

(1) 入賞は8位までとし、1位8点～以下1点減で8位1点とする。

(2) 同順位の場合は、得点を折半する。

(3) 総合得点で同点の場合は、リレーの得点の多い方を上位とする。それでも同じ場合は上位入賞の多い方を上位とする。

(4) 競技の運営上、学校対抗の点数計算および結果報告は大会終了後となるが見込まれる。

7. 表彰

- (1) 個人3位まで賞状を授与する。
- (2) 男女別総合1位には優勝旗と賞状を、2・3位には賞状を授与する。

8. 申し込み及び監督会議

第一回 5月 9日(土) 15時00分 小樽市手宮公園陸上競技場

第二回 6月 4日(木) 書面開催

申し込み締め切り6月8日(月)

※ 午後5時までに所定の形式に記入の上、ファイルをメールに添付し、下記のアドレスまでお願いします。

当番校 小樽市立北陵中学校 fukui.takashi01@otaru.ed.jp

9. 競技注意事項

- (1) 本大会は2026年度日本陸上競技連盟規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。不正スタートについては、1回で失格とする。
- (2) アスリートビブスは各自で用意すること。番号は団体ごとに割り振られたものを用いる。
- (3) 腰ナンバーは小樽後志陸上競技協会のもを購入すること(昨年度までのものを使用可能)。
- (4) アスリートビブスは胸と背中に確実にとりつけること。安全ピン等は各自で用意すること。(跳躍選手は胸・背中どちらか一方でもよい) なお、トラック種目については腰ナンバーをスタート前に右腰に取り付けること。
- (5) 最終点呼は、競技開始時刻より、トラック種目は15分前・フィールド種目は20分前、棒高跳は50分前とする。
- (6) 点呼後は、召集所から競技場へ移動するときは、役員の指示・誘導に従うこと。
- (7) トラック種目とフィールド種目の両競技に出場する選手は、棄権にならないよう特に注意すること。なお、トラック種目を優先すること。(ただし、時間があるときは1回でもフィールド種目の試技を行ってからトラック種目へ行くこと。その際、必ずフィールド種目の審判にことわること。)
- (8) 補欠との交替は当日の監督打ち合せまでとし、以後の変更は認めない。
- (9) 正選手としてエントリーせず、補欠としてのみ参加する選手も用紙に記入し、種目は空欄とする。
- (10) 競技場への入場は速やかに行き、横断や応援のための場内への立ち入りを禁止する。
- (11) 競技者はランニングシャツ(またはTシャツ)、ランニングパンツ(ハーフパンツでも可)で出場し、競技寸前までジャージを着用しても良い。
- (12) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

単独種目

男子	1m20	～	1m55まで、5cm上げ	以後、3cm上げ
女子	1m05	～	1m40まで、5cm上げ	以後、3cm上げ

四種競技

男子	1m10	～	3cm上げ
女子	1m00	～	3cm上げ

(練習の高さは、男子1m15、女子1m05とする、選手の状況にあわせ2段階で練習を行う)

- (13) 砲丸投以外の競技では、全天候用9mm以下のスパイクピン(走高跳は12mm以下)を使用すること。
- (14) 棒高跳のバーの上げ方は練習試技により、跳躍主任の判断で決定する。

10. 競技役員割り当て

- (1) 専門部から小樽後志陸上競技協会に依頼する。
- (2) 引率も原則として競技役員に割り当てられる。

11. その他

- (1) 各種目1位の者(1年種目の1位は除く)または全道大会参加標準記録突破者は、第57回北海道中学校陸上競技大会の出場権を得ることができる。
- (2) 四種競技は、全国大会指定大会であるので、全国大会標準記録を突破した者は、第53回全日本中学校陸上競技選手権大会への参加権を得ることができる。
- (3) 大会参加の氏名・所属・学年は大会運営のために必要なプログラム及びホームページなどに利用する。
- (4) 選手の大会成績はホームページなどへ記載するために利用する。
- (5) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
- (6) 引率者または監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。
- (7) 悪天候(雷)等の場合においては、日程変更や中止等もあり得る。また、この他に急を要することが生じた場合も、同じくホームページに掲載する。

12. 全道大会参加標準記録

男子（13種目）		女子（10種目）	
種目	標準記録	種目	標準記録
100m	11"70	100m	13"20
200m	24"10	200m	27"80
400m	56"30		
800m	2'12"40	800m	2'32"00
1500m	4'33"50	1500m	5'17"00
3000m	9'57"50		
110mH	17"50	100mH	16"90
走高跳	1m61	走高跳	1m40
棒高跳	2m80		
走幅跳	5m75	走幅跳	4m65
砲丸投	10m30	砲丸投	9m50
四種競技	1,750点	四種競技	1,875点
4×100mR	47"00	4×100mR	53"60

※ 四種競技の個々の記録が標準記録を突破していても、個々の種目に出場することはできない。